

上田市で羽田次郎総決起大会

立憲・野田元首相、共産・小池書記局長、社民・中川県連合代表が演説

選挙戦もいよいよ最終盤に入りました。上田市・信州国際音楽村の野外ホールで4月20日夕刻、立憲民主党から野田佳彦・元首相、日本共産党から小池晃・書記局長、社会民主党県連合から中川博司代表が参加して羽田次郎総決起大会が開かれました。3野党の代表と羽田次郎さんの訴え（要旨）をみなさんにお届けします。



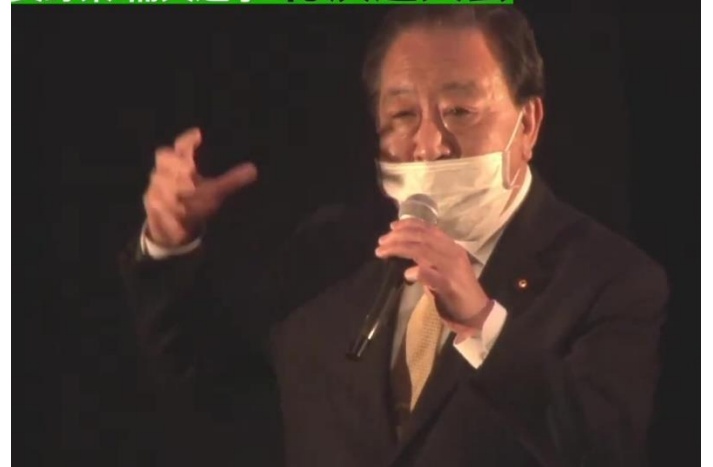
多弱を克服し、市民と野党が連携して1強を倒す

立憲民主党最高顧問（元首相） 野田 佳彦

雄一郎さんには野田内閣で国土交通大臣として献身的に支えていただいた。人情の機微のわかるナイスガイだった。羽田次郎さんも温厚篤実なお人柄だ。今回の選挙は吊い選挙という意味だけでない。菅政権に審判を下せるのは、北海道2区の道民と長野と広島の県民しかいない。特に問われるのが、菅政権のコロナ対策。自助でパンデミックに立ち向かえるのか。国民の命と暮らしを守るために適時適切に公助を発動するのが政治の役割。ノーという意思表示を示そう。

北海道2区の贈収賄事件、広島の大規模買収、ずいぶんと古い政治に戻っている。まん延防止が必要なのは永田町と霞が関だ。国民のための役所と役人にするため今回の選挙勝たなければいけない。1強の流れの弊害を断ち切るには、我々の反省も含めて、野党がバラバラではいけない。多弱を深く反省し、多弱を克服する選挙にしなければいけない。

長野県 補欠選挙 総決起大会



市民と野党が連携して1強を倒す。そのうねりを、この長野からつくりましょう。

コロナから学ぼう ― 政治の仕事は「公助」

日本共産党書記局長 小池 晃

私の父親のルーツは塩田平、上田に来るといつも血が騒ぐ。無為無策の菅政権に決着をつけよう。日本の人口当たりの検査数は世界145位。ワクチンの接種数は世界132位と後進国になってしまった。菅政権には、国民の命を守る覚悟も政策もない。ところが相手陣営のポスターにびっくりした。「いのちと暮らし、雇用を守る」それを壊してきたのが菅政権ではないか。自分の力ではどうにもできないから政治がある。

政治の仕事は「公助」。いま政治に求められているのは、医療、介護、保育、学童保育、障害者福祉、生きていくために必要なサービスをしっかり支えていく。個性を尊重してみんながその人らしく生きていけるような社会をつくるために責任を果たす。それがコロナから政治が学ぶべき教訓ではないか。今、それを訴えているのが、この長野補欠選挙では羽田次郎さんしかいない。「立憲主義を回復し、憲法を暮らしと政治に生かし、競争と自己責任の社会から、命と人間の尊厳を守る社会へ」これが羽田次郎さん。これが共闘の原点。憲法をないがしろにし、強権をふるい政治を私物化し、国民には自助努力だけを押し付ける政治を、長野の党派を超えた力で変える選挙にしよう。市民と野党が本気で力を合わせれば必ず勝てることを証明してきた



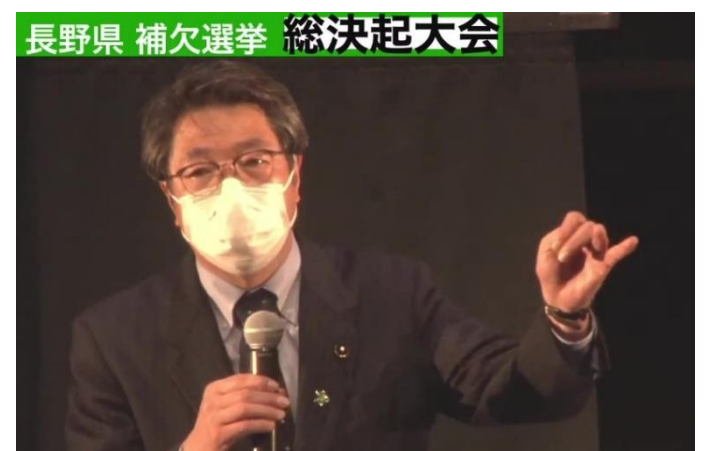
のが長野の戦いだった。長野にはその共闘の実績、歴史がある。様々な違いを乗り越えて、力を合わせてここまでやってきた。今度の選挙も必ず勝とう。そして総選挙で、政権交代を実現し羽田次郎参議院議員とみんなで、羽田雄一郎さんに「あの選挙から日本が変わった！」と報告できるような結果を出そう。日本共産党は羽田次郎さんを必ず国会に送るまで責任をもって全力を尽くして頑張りぬく決意だ。だいたい、この地域で千曲会と共産党が組んだら怖いものなんかない。市民と野党、力を合わせれば必ず勝てる。頑張りましょう。

自民のスローガンはブラックジョークだ

社会民主党長野県連合代表 中川 博 司

昨夜、市民と野党の共同のテーブルを開催し、投票箱のフタが開まるまで全力をあげていくことを意思統一した。

自民党の政治は限界であり、絶望だ。どれだけのひとが命を落としてしまったのか。自民党の参議院選のスローガン「いのちと暮らし、雇用を守る」ブラックジョークだと思いました。政権政党がスローガンにするということは「いのちと暮らし、雇用を守る」をできていないことを宣言しているのと同じだ。自民党の絶望は、前川喜平さんが言い、先ほど野田さんも言っていたが、官僚のみなさんは国民のために働きたいと思っているのに、今は官邸の方向ばかり向いて「なんでも官邸団」になってしまっている。そして政権は政権維持のためだけにきゅうきゅうとしている。国民の方を見ていない。国民のための政治をしていない。



今回の参議院選挙でなんとしても羽田次郎さんに勝っていただき政権交代の突破口として、秋までに必ずある衆議院総選挙で政権交代をめざしていく、そのために社民党も羽田次郎勝利に向け、最後まで全力で戦い抜く。

ビデオメッセージ

新しい日本、いのちが大切にされる日本をつくろう

立憲民主党代表 枝野 幸男

新しい立憲民主党をスタートできたのも多くの方に慕われてきた羽田雄一郎さんがいたから。その思いをきっちり引き継いでくれるのは羽田次郎さん。暮らしの現場の声をしっかりと受け止めていく政治に変えていかなければいけない。この補欠選挙をきっかけにしていきたい。自民党も必死に戦っている。選挙情勢はいろいろ報道されているが、羽田次郎さんに、これまで皆さまから寄せていただきいてきたお力を、残りの期間、しっかりと拡大していくことで、この選挙を勝ち抜きたい。選挙は最後の3日間、最後の3時間が大事だと言われている。ぜひ一人でも多くの人にお声かけください。特に投票率の低下が心配されている。

新しい日本、一人一人の命が大切にされる日本をつくっていくため長野からも踏み出していただきたい。どうぞよ



ろしくお願いいたします。

熟議のなかで市民と野党の共闘が固まってきた

参議院長野補選候補者 羽田 次郎

兄が多くの皆様に愛され、頼りにされていたことを聞けば聞くほど、その責任と期待をしょっていきけるのか不安になりましたが、今回の選挙戦を通じて、さまざまな演説会場、屋外で街頭ばかりですが、寒くても雨が降っても、風が吹いても、たくさんの皆様にお集まりいただき「次郎がんばれ！」と多くの励ましのお声をいただきました。心強いと同時に、改めて責任の重さを痛感し、この議席、なんとしても勝ち抜き、国民目線の、生活者目線の、働く者目線の政治を信州から新しく作りあげていかなければならないと思いました。

まず私が国政の場で取り組みたいのは、新型コロナを1日も早く終息させることです。すでに信州長野県だけでも53名の命が奪われ、私同様、その遺族の方、命を落とした方も無念であると思います。終息させるために一日でも早く、誰でもいつでも負担なく検査を受けられる体制をつくれます。一個人、一企業ではどうにもならない。国がしっかりと支えていく。検査をして体をしっかりと治して給付も受ける。戻ってきたときは職場や家庭で、笑顔で「お帰り」、笑顔で「ただいま」と言える社会をつくっていかな



なければいけない。コロナの差別や偏見をなくすことが私にとって大きな今の政治目標です。

そして兄が掲げた「チルドレンファースト」子どもたちに安心安全な地域をつくり、そして平和な国を残していく、兄の思いを胸に実現していきたい。これまで2か月半ほど全県歩き回り77市町村、多種多様な地域で、地域の皆さんの声を聴いてまいりました。自助だ、自己責任だと、子

2021年4月20日

どもたちに責任を押し付けるような政治はやめなければいけない。女性差別、育児に関する問題、そうした小さな声、声なき声を、国政に届ける、「スモールボイスファースト」と街頭で叫び続けております。

今、一極集中の東京だけを向いている永田町の自民党を中心とする政権の姿勢を、みなさまの声に耳を傾ける政治に変えていきたいと思っています。私は皆様とのお約束を守っていきます。違う部分があれば話し合い、目標を共有し合意を形成していくそのプロセスが大切です。私が今回立候補したことに関して、いろいろと新聞、ネット上で書かれていますけれど、熟議を重ねていく中で市民と野党の

共闘が固まっていくのだと思います。そのためにも何としてもこの戦いを勝ち抜き、市民と野党の共闘はこういう形で、つくり上げられたということ全国に向けて示していただけたらと思います。そのためにも、みなさまのお力で羽田次郎を皆様お一人お一人の代弁者として、そして市民と野党の統一候補者として、しっかりと国政へと送り出させていただくことを心よりお願い申し上げます。私、羽田次郎の決意表明、そして今日お集まりいただいたみなさまへの御礼と、兄に対して必ず勝ち抜くという約束の言葉に代えさせていただきます。

羽田次郎さんの演説にすごみと説得力が出てきた



中川村での朝の手振り（21日）

明日への責任
新しい時代への挑戦！

期日前投票期間 <4/9(金)~4/24(土)>
投票日 <4/25(日)>

立憲民主党公認候補
候補者氏名
羽田次郎

参議院議員選出選挙
長野選挙区
貴重な一票は

子どもたちの未来のために

へお願いします。

みんなで投票に行こう！

GO VOTE

信州市民アクション

- ◆戦争をさせない1000人委員会・信州
長野市県町532-3 電話 026-234-2116 FAX234-0641
- ◆憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会
長野市県町593 電話 026-234-2216 FAX234-2219